

ドバイ・アブダビ株ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第 17 作成期

作成対象期間：2019年2月15日～2019年8月14日

第33期 決算日：2019年5月14日

第34期 決算日：2019年8月14日

第 34 期末 (2019 年 8 月 14 日)	
基準価額(作成期末)	11,241 円
純資産総額(作成期末)	475 百万円
第 33 期～第 34 期 (2019 年 2 月 15 日～2019 年 8 月 14 日)	
騰落率(当作成期) [※]	1.1%
分配金合計(当作成期)	200 円

※騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。当ファンドは主としてアラブ首長国連邦(UAE)の取引所に上場している株式、ならびに世界各国・地域の取引所に上場しているUAE関連企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ここに当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)は、下記の手順にてご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「運用ファンド」ファンド名称より「運用報告書」を選択ください。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区内神田一丁目13番7号四国ビルディング9階

< お問い合わせ先 >

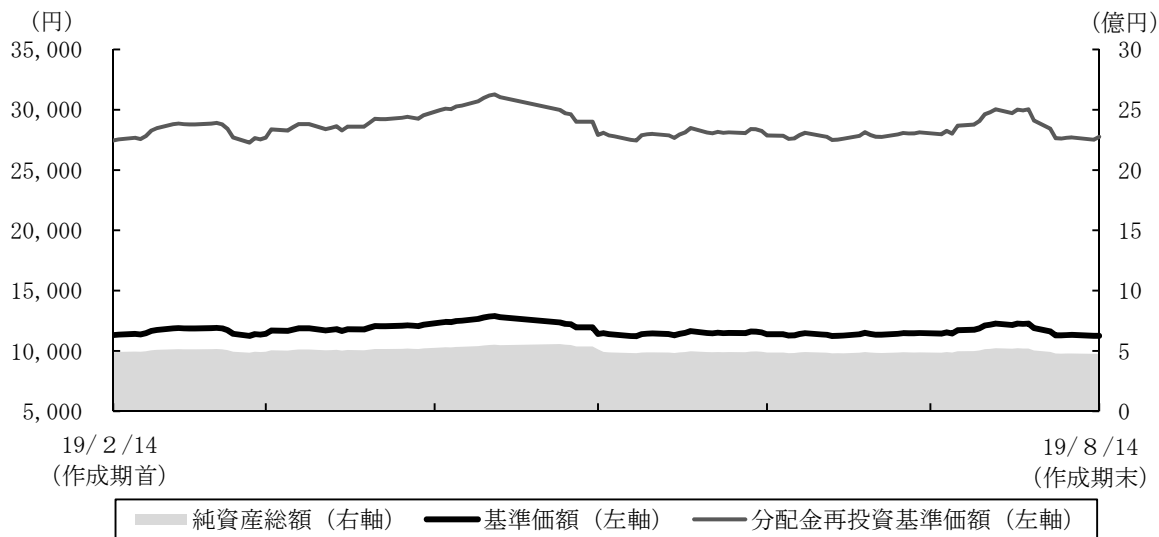
【電話番号】 **03-5259-7401**

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 運用経過の説明 ◆

1. 基準価額の推移 (2019年2月15日～2019年8月14日)



作成期首：11,313円

作成期末：11,241円（既払分配金200円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

2. 基準価額の主な変動要因 (2019年2月15日～2019年8月14日)

当ファンドに組み入れているドバイ、アブダビの銘柄の株価上昇が基準価額の上昇要因となりましたが、米国ドルに連動しているUAEディルハム/円レートについては、UAEディルハム安/円高が進行しました。

3. 当作成期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

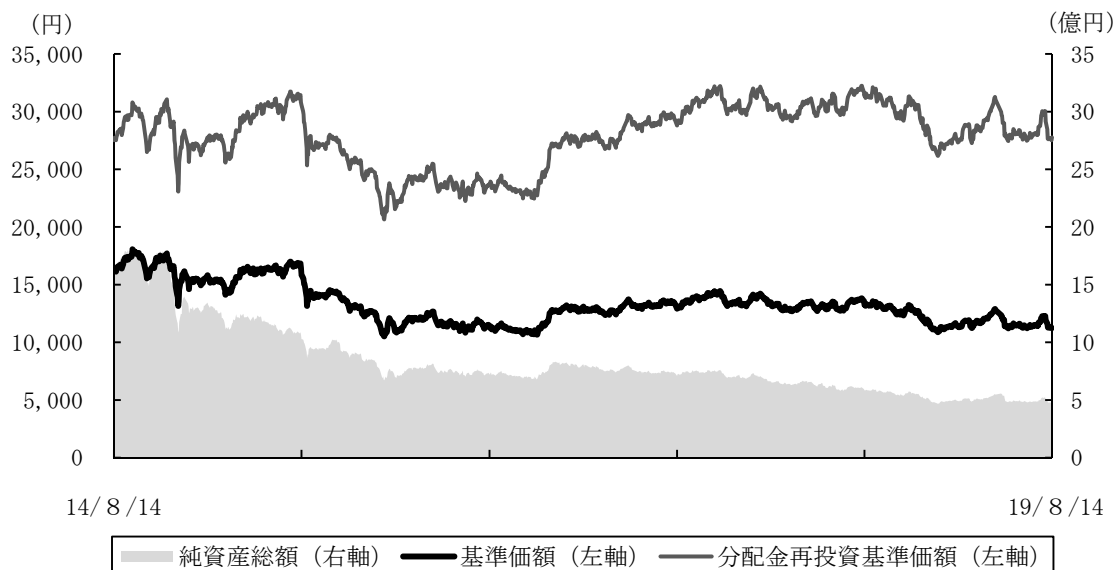
項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	92円	0.780%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率です。なお、作成期中の平均基準価額は11,729円です。
(投 信 会 社)	(38)	(0.321)	・ 委託した資金の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0.428)	・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.032)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.147	(b) 売買委託手数料は作成期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(17)	(0.147)	売買委託手数料とは、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.012	(c) 有価証券取引税は作成期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(1)	(0.012)	有価証券取引税とは、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用	63	0.536	(d) その他費用は作成期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(4)	(0.032)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保 管 費 用)	(39)	(0.329)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回数・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(20)	(0.175)	・ 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	173	1.475	

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

4. 最近5年間の基準価額等の推移 (2014年8月14日～2019年8月14日)



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

	(2014/8/14)	(2015/8/14)	(2016/8/15)	(2017/8/14)	(2018/8/14)	(2019/8/14)
	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額 (円)	16,146	15,864	11,254	12,920	13,246	11,241
期間分配金(税込み)合計(円)	—	2,000	1,000	750	800	500
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	11.1	△22.7	21.9	8.9	△11.5
ドバイ金融市場総合指数騰落率(%)	—	0.7	△27.0	9.2	△20.2	△4.3
アブダビADXジェネラル指数騰落率(%)	—	14.8	△22.0	7.2	8.0	2.0
純資産総額 (百万円)	1,631	1,027	718	709	580	475

(注1) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、「ドバイ金融市場総合指数」と「アブダビ ADX ジェネラル指数」の前営業日の終値を当日の為替レート(投信協会発表)で邦貨換算した数値を参考指数として表示しています。

(注2) 騰落率は1年前の決算日との比較です。

(注3) 期間分配金は、年間の分配金を合計して算出しています。

5. 当作成期中の投資環境 (2019年2月15日～2019年8月14日)

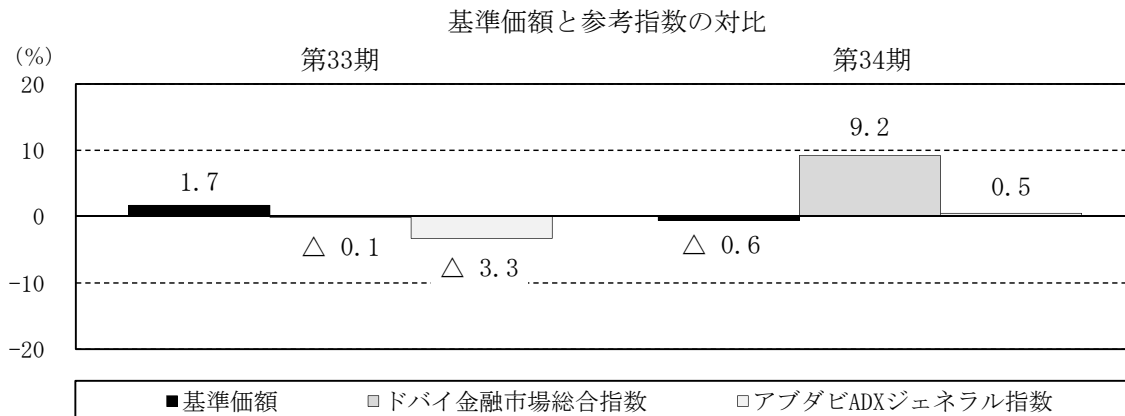
期初から米中通商協議に対する進展期待が支援材料となり堅調な相場展開となりました。しかし、5月に入ると米中貿易摩擦激化への懸念を背景に世界経済の先行き不安が再燃、世界的に株式市場が下落基調となる中、軟調な相場展開となりました。5月5日にトランプ米大統領が突如、対中制裁関税引き上げ（昨年9月開始の第3弾、約2,000億米ドル相当分の関税10%を25%に）を表明したことで米中間の緊張が増したことから、一時大幅に下落しました。その後、下落した場面では買い戻しが入ってきたことや、米FRBによる金利引き下げ観測を背景に上昇に転じました。その結果、FTSE／ナスダックドバイ UAE20 指数は前作成期末比 5.76%の上昇となりました。為替市場では、UAE ディルハム安／円高が進行し、前作成期末比で 4.13%の（円高）となり、29.01 円で当作成期末を迎えました。

6. 当該投資信託のポートフォリオ (2019年2月15日～2019年8月14日)

当ファンドは、ドバイ・アブダビ株式市場に上場されている株式の中から、ドバイ・アブダビの経済成長の恩恵を受けることが期待される銘柄を中心に組み入れております。業種別では、銀行、不動産、運輸を高位に維持しました。

7. 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) 各期の基準価額は分配金（税引前）込み。

(注2) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、「ドバイ金融市場総合指数」と「アブダビ ADX ジェネラル指数」の前営業日の終値を当日の為替レート（投信協会発表）で邦貨換算した数値を参考指数として表示しています。

8. 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当作成期の分配金は以下の通り（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

	第33期	第34期
	2019年2月15日～ 2019年5月14日	2019年5月15日～ 2019年8月14日
当期分配金	100	100
（対基準価額比率）	0.87%	0.88%
当期の収益	100	—
当期の収益以外	—	100
翌期繰越分配対象額	3,077	3,029

（注1）当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

（注2）対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

中長期的には、ドバイ・アブダビ経済は、石油を中心とした鉱業の他に観光産業や投資の拡大を背景に堅調に推移し、それに伴い株式市場も伸びていくとみています。短期的にはドバイ株のPERは11倍台の水準で推移しており、割安感が強く、企業業績自体も堅調に推移していることから堅調な相場展開が期待できるとみています。

セクター別では、引き続き銀行、不動産および運輸など、ドバイ・アブダビの経済成長の恩恵を享受できると思われる業種を中心に投資していく方針です。

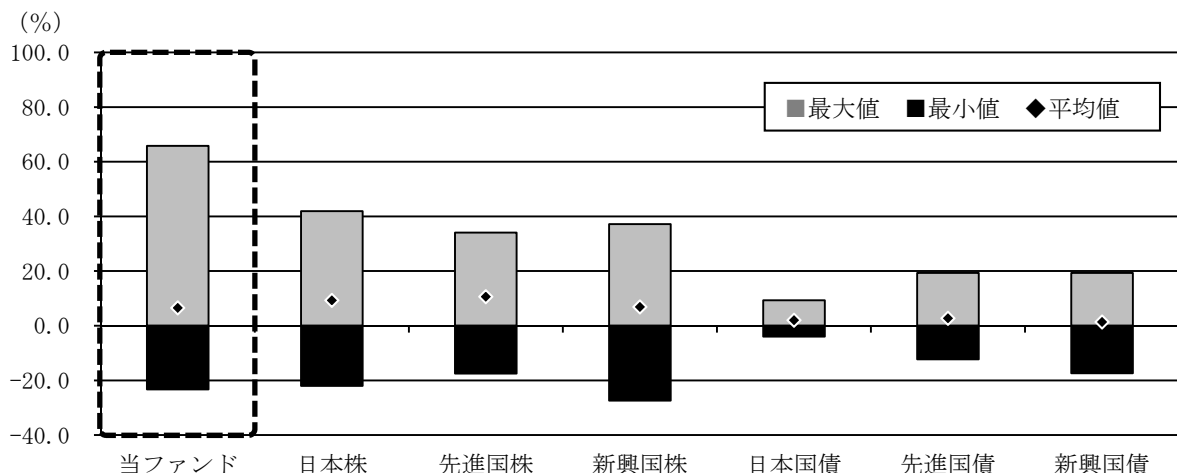
◆ お知らせ ◆

該当事項はございません。

◆ 当該投資信託の概要 ◆

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2011年2月15日（設定日）から2021年2月15日まで
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	アラブ首長国連邦の取引所に上場している株式
運用方法	<ol style="list-style-type: none">1. 主としてアラブ首長国連邦の取引所に上場している株式、ならびに世界各国・地域の取引所に上場しているアラブ首長国連邦関連企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します（アラブ首長国連邦関連企業とは、事業展開、収益構造等から総合的に判断します。）。2. 銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性などを勘案して厳選します。3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、機動的に市場変動に対応することがあります。4. 市況動向および資金動向により、上記の様な運用が行えない場合があります。
分配方針	原則として毎計算期末に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

◆ 代表的な資産クラスと騰落率の比較 ◆ (2014年8月～2019年7月)



● 当ファンドと代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大・最小騰落率 (%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	65.8	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-23.3	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4
平均値	6.5	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 過去5年間の各月末における年間騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注3) 各資産クラスの指数につきましては最終ページをご覧ください。

(注4) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、邦貨換算しています。

(注5) 騰落率は当作成期末の直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

(注6) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

◆ 当該投資信託のデータ ◆

1. 当該ファンドの組入資産の内容 (2019年8月14日現在)

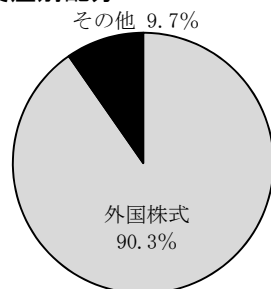
● 組入上位 10 銘柄

銘柄名	業種	比率(%)
First Abu Dhabi Bank PJSC	銀行	24.9
Abu Dhabi Commercial Bank PJSC	銀行	13.1
Emaar Properties PJSC	不動産	12.6
Emirates Telecommunications Co	電気通信サービス	7.2
DP World Plc	運輸	7.1
Aldar Properties PJSC	不動産	3.9
Dubai Islamic Bank PJSC	銀行	3.7
Emirates NBD PJSC	銀行	3.6
Air Arabia PJSC	運輸	2.9
Emaar Malls PJSC	不動産	2.9
組入銘柄数	16 銘柄	

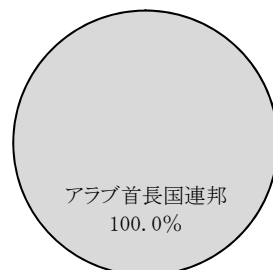
(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

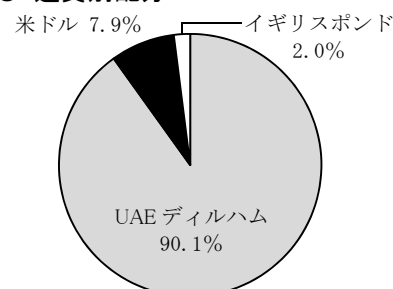
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注3) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

2. 純資産等

	第33期末 2019年5月14日	第34期末 2019年8月14日
純資産総額	512,940,080 円	475,697,061 円
受益権総口数	449,683,207 口	423,168,323 口
1万口当たり基準価額	11,407 円	11,241 円

(注) 当作成期における追加設定元本額は46,121,946円、同解約元本額は54,273,182円です。

◆ 指数に関して ◆

各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
先進国株…MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円ベース)
新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
日本国債…NOMURA-BPI国債
先進国債…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。
なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。
なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。
なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。
なお、NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。
なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。